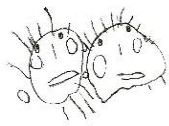


いっぽ だより



2022年度 No. 9

はじめのいっぽ

2022年12月28日

新年あけましておめでとうございます。皆様におかれましてはよい年をお迎えになったことと存じます。今年の干支はウサギ🐰ですので「ぴよんぴよん」行きたいところですが、はじめのいっぽはゆっくり・じっくり・ていねいにカメ🐢さんのようなウサギ🐰で、今年も子どもたちと真剣に向き合いながらいっぽいっぽ歩みます。

前代表のわか子先生からはじめのいっぽを引き継いでなんとか一年経過しました。幸いなことに私は、父兄の皆さん、会員の皆さん、そしていっぽの協力者の皆さんに助けられ何とかここまで来る事が出来ました。そして何より、わか子先生の思いを受け継いで日々一生懸命働いてもらっている先生方にあらためて感謝とお礼を申し上げます。毎日子どもたちが元気に走り回る姿や、仲間同士の語らいを見ていると、私も子どもたちから素晴らしいエネルギーをもらっているんだなと思わずにはられません。これからもいっぽの子どもたちに楽しい時間を過ごす中で、良い思い出を創ってもらうために努力して行きます。

昨年末は慌ただしく過ぎましたが、秋に漬けた漬物も美味しく出来、子どもたちと頂いております。クリスマス会では小川理事に今年もサンタ役をお願いしていましたが、23日の大雪のため中止になったのが残念でした。そして昨年最後の行事は日本の食文化でもある餅つき大会でした。以前はぺったん・ぺったんと、あちこちの家庭から餅をつく音が聞えて来たのを思い出しますが、今ではめっきり聞けなくなった音ですね。古き良き時代の伝統文化を今の時代に通じるものは遺し、新しきものも取り入れながら、子どもたちと一緒に考え学んで行きたいと思えます。

最近のニュースで暴力や暴言等の虐待と次々と報道されています。障害者施設や老健施設では虐待、小学校では先生の児童に対する陰湿ないじめ、刑務所では受刑者に対する刑務官の暴力、又ある障害者グループホームでは避妊処置の強要など明らかになっています。

なぜいつも職場や学校や福祉施設等で立場の弱い人が暴力虐待を受け犠牲になるのか。これらはそこに携わる職員や先生一人ひとりの資質や、虐待防止に対する認識の甘さ、相談できず孤立してしまう職場環境、人手不足等もあり、気持ちに余裕を持って働けないのも原因のひとつではないでしょうか。福祉の職場に携わる私たちも他人事ではなく、今年一年大事なお子さんを預かっている責任を職員一同再確認し、子どもの心に寄り添った療育に心がけなければと思っております。



代表 石橋 和久

1月のスケジュール

日 時	行 事
1月 5日 (木)	仕事始め
1月 5日 (木)	お楽しみ会
1月 9日 (月)	成人の日
1月10日 (火)	あっちこっち紙芝居
1月23日 (月)	定例会議

小中学生編（12月活動）

クリスマス会

今年のクリスマス会は金曜日なので、金曜日通所の子を中心にクリスマス会の演奏練習を12月の活動のひとつとして取り組みました。去年とは違うメンバー編成で大丈夫かな？と思っていましたが、あっという間に習得してしまう子どもたち！23日のクリスマス会に向けガンバレ！と見守っていましたが23日当日、大雪によりいっぽも休所せざる負えなく、演奏のお披露目が出来ずに残念な結果となりました。が！サンタさんは、子どもたちのプレゼントをとどけてくれました。子どもたちがいなくてさみしそうでしたが・・・



もちつき大会

毎年恒例の餅つきは1年の締めくくりの12月師走にみんなで盛大に実施します。まず最初に、鏡餅にする餅をつきます。その後、みんなでいただく餅をつき、一口大にちぎります。その前の下準備も、もち米をうるかし、せいろで蒸かして、つき始めるまでいろいろな工程があることを子どもたちに伝えていきたいと思っています。日本の稲作にまつわる文化は決して失ってはいけな食に関する伝統であり、日本語と同じぐらい大切な日本の根幹をなすものと思います。大切に継承していきたいものです。



日々の活動

最近では雪の降るタイミングがつかめず、当日に遊びを決定することが多く大胆な遊びが出来ずにいましたが、23日の大雪のおかげで、事前に“途別でがけ下り”をしようという計画ができ、冬休みはじめのはじめた活動が実現しました。雪のかぶった山々を見ながら自然の中で遊べる幸せを日本全国の中で、どれだけの子が



経験できるのか考えると、十勝に生まれた幸せをひしひしと感ずるのでした。

ひつじ組 編 (午前未就学児)

～日々の屋外活動～

雪のない12月が始まり、何をしようかと日々頭を悩めいろんなことにチャレンジしました。オリジナル凧あげもその一つです。風がない日は走り回り自分が風になり歓声を上げています。季節も少しずつ冬を装い、子どもたちの遊びも新しい活動ステージに入りつつあります。そりに乗る楽しさ、そりを引く楽しさ、子どもそれぞれに差があるけれど、雪で遊ぶことが出来る北海道に住んでいることを目一杯満喫し、感謝したい気持ちでいっぱいです。



～日々の室内活動～



ハサミを使う集中力！



細いカプラを立てる集中力！



ビー玉が向かう先を読む力！



ねんどを握る！



ねんどを丸める！

手指の使い方を学び、脳と指先を繋げる神経を刺激します。目で見て手で触れて感じることを頭で処理し自分の望むものにつくりあげて行く・・・これだけのことを毎日繰り返しているのです。

メリークリスマス！とサンタがいっぱいやってきた。驚く子、怖がる子、プレゼントに興味がる子、それぞれの反応がバラバラで対応に苦慮するサンタさん！来年はどんな反応が待っているのかな？

